

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成22年7月22日(2010.7.22)

【公表番号】特表2009-539411(P2009-539411A)
 【公表日】平成21年11月19日(2009.11.19)
 【年通号数】公開・登録公報2009-046
 【出願番号】特願2009-515592(P2009-515592)
 【国際特許分類】

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

【F I】

C 1 2 M 1/00 A

G 0 1 N 37/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月4日(2010.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明基板層と、

不透明なクラッド層と、

前記クラッド層を貫通して配置された開口を含みかつ少なくとも部分的に前記透明基板層内まで延在するコアと、

を含む、ゼロモード導波路基板。

【請求項2】

前記透明基板層が少なくとも第1および第2の透明層を含み、前記第2の透明層は前記第1の透明層上に配置されかつ前記クラッド層は前記第2の透明層上に配置され、ここで前記開口は前記クラッド層および前記第2の透明層を貫通して延在する、請求項1に記載のゼロモード導波路基板。

【請求項3】

前記クラッド層が金属を含む、請求項2に記載のゼロモード導波路基板。

【請求項4】

前記コア内部および少なくとも部分的には前記コアの前記透明基板層内まで延在する部分の内部に配置された反応表面をさらに含む、請求項1に記載のゼロモード導波路基板。

【請求項5】

前記反応表面がポリメラーゼ酵素を含む、請求項4に記載のゼロモード導波路基板。

【請求項6】

反応を監視する方法であって、

請求項1に記載のゼロモード導波路のコア内部に反応混合物を提供するステップと、

前記反応混合物を前記コアの照射体積内で監視するステップと、

を含む方法。